



③ 8月23日(金)  
午前6時57分  
班長さんにより  
仮設櫓を中心に  
提灯の取り付け



① 役所への届出  
公園内行為許可  
申請  
二丁目・広場公園  
7月17日許可  
港北土木事務所  
道路使用許可申請  
山車巡行コース  
8月14日許可  
港北警察署



④ 8月23日(金)  
午後6時30分  
盆踊りの最終練  
習とリハーサル  
開始

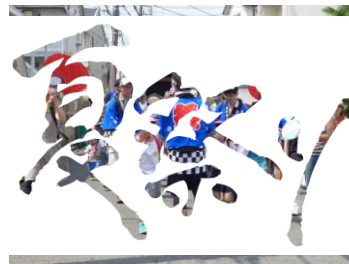


② 8月18日(日)  
午前7時8分  
班長さんおよび  
公園愛護会によ  
り公園を清掃

なかてはら  
第56号  
発行  
仲手原自治会



⑤ 8月24日(土) 山車は午前10時より1丁目を巡行(↑ 5班2組付近)



2019  
8.24~25



(↑ 7班13組付近)

⑩ 8月25日(日)  
第2給水所へ向かう山車



⑧ 8月25日(日)  
山車の前後側面に  
付いて子ども達を  
守る為、待機中の  
消防団員の皆さん



⑨ 8月25日(日)  
山車は午前10時  
より2丁目を巡行  
(← 第1給水所  
7班10組付近)



⑥ 8月24日(土)  
夏祭りは寄付と  
寄贈で運営  
「皆さんありがと  
うございます」



⑦ 8月24日(土)  
午後6時30分  
盆踊り開始  
まずは「炭坑節」  
から



⑮ 8月25日(日)  
午後7時40分  
ビンゴゲーム開始



⑬ 8月25日(日)  
親子で賑わう  
模擬店など



⑪ 8月25日(日)  
第2給水所より  
仲手原南自治会の  
神輿が合同で巡行



⑯ 8月26日(月)  
午前6時57分  
班長さんにより  
提灯の片付け



⑭ 8月25日(日)  
午後7時頃 子ども  
も達へお菓子配布



⑫ 8月25日(日)  
午後6時30分  
盆踊り開始 今年  
は和太鼓を投入

もしものための  
**仲手原自治会 防災訓練**  
 2019  
 自助・共助の備え



10月26日、自治会防災訓練が自治会館、二丁目公園、広場公園を使って開催されました。

今年の訓練は、9月15日に開催された防災士 鷲山龍太郎氏による「港北区防災キャラバン」で学んだ役割分類を参考にして自治会で企画しました。具体的には、対策本部・情報連絡・消火・救出・救護・避難誘導・物資班などの活動を想定し、それぞれ災害時の課題にそった訓練をしました。

朝9時にマグニチュード8.1最大



震度7の地震が発生したという想定のもと、町内住民の安否確認がスタートしました。自治会員から在宅人数を組長へ伝え、組長から班長へと情報が集められ、各班長は班内の状況を集約して自治会館の災害対策本部へ伝えました。これは災害発生時に最初に活動する機能である情報連絡班による安否情報確認・被災状況管理・要援護者情報管理という活動に当たります。この活動の中では今年度全班長・組長に預けられた「災害時安否・被害確認台帳」が初めて使われました。

訓練では、まず民生委員による車椅子を使った避難搬送訓練と一般住民の避難受付が行われ、二丁目公園に参加者が集結して各種体験訓練が始まりました。参加者は、一般会員・班長・組長・民生委員・青少年指導員・消防団・武相学園生徒・自治会役員等を含めて153名でした。

斎藤眞幾男自治会長と港北消防篠原出張所佐藤所長の挨拶のあと、

6項目の訓練コーナー

- ① 簡易トイレ設置訓練
- ② 情報伝達訓練 (トランシーバー操作)
- ③ 建物等損壊場所からの救出訓練 (バール・ジャッキ等操作)
- ④ 備品取り扱い訓練 (スコップ・のこぎり・ロープ・防水シート等)
- ⑤ スタンドパイプ放水訓練 (器具操作説明・放水体験)
- ⑥ 小型発電機起動訓練



武相学園柔道部生徒と車いす搬送訓練

[App Store] [Google Play] で「港北区防災情報アプリ」を検索

今年度の訓練として設定した6項目の訓練コーナーを順に回り、それぞれの場所で説明を聞き、また、機械器具などの操作を実際に体験しました。自治会館前では切干大根を使った防災食の試食が行われました。なお、情報伝達訓練の中で、スマートフォンの「港北区防災情報アプリ」が紹介されました。このアプリを使うと、港北区ハザードマップや、地震・台風・大雨などの防災情報を得ることができ

自治会館を  
 いっとき避難所  
 として開設  
 2019. 10. 12

台風19号接近・上陸に際し、横浜市内で「土砂災害・浸水害警戒情報」が発表され、避難勧告(警戒レベル4)が発令される中、港北区だけでも約千七百人が20ヶ所の緊急避難場所に避難しました。

仲手原自治会でも10月12日に自治会館を「いっとき避難所」として開設しました。数名の方が避難されましたが、風雨が弱まった22時半頃には全員帰宅され、23時には閉所することができました。

仲手原自治会では自治会館と仲手原二丁目公園・広場公園を一時避難所として指定しています。今後必要に応じて「いっとき避難所」を開設します。

**地元へ貢献!**  
**まちの消防団**  
**第二分団第5班**

町内のお祭りや防災訓練などで青い活動服を着た方々を見かけます。このりりしい方々こそ、私たちの町を守ってくれる消防団員です。消防団班長の玉川真さんにお聞きしました。



きくちひでゆき 菊地秀行さん  
 たまがわまこと 玉川真さん

玉川さんは2000年当時、町内のお祭りなど熱心に取り組んでいる方々の姿を見て、感じるものがあり、自分も地域の役に立ちたいと自ら消防団に志願したそうです。そして現在入団19年目を迎えて、リーダー消防団員としてバリバリ活躍されています。写真の玉川さ

**年間の第二分団第5班の活動**  
**◎防災活動**

- ▶ 春・秋火災予防運動
- ▶ 第二分団夏季訓練会 (菊名池公園プールサイド)
- ▶ 港北消防団夏季訓練会 (新羽車両基地) 資機材を使って消火競技
- ▶ 年末年始特別警備

**◎地域の行事の警備**

ふれあい祭り・夏祭り・健民祭  
 地域拠点訓練・仲手原防災訓練

**消防団Q & A**

仲手原自治会

検索



**★どうしたら消防団員になれるのですか?**

試験などはなく、健康な方でしたら誰でも入団できます。入った

らしっかり研修を受けて、消防技術や知識、コンプライアンス(法令や規則を守ること)を学びます。  
**★どんな方々が消防団に入っているのですか?**

昔は、商店街のご主人など自営業の方々がいましたが、現在ほとんどがサラリーマンです。重たい機材を取り扱うため、体力のある方がふさわしいです。

第二分団(篠原地区)団員は81名。その内仲手原・篠原台町担当

の第5班は、16名で40代、50代の団員で活動します。区内在住、在勤、在学が入団資格で身分は非常勤特別職の地方公務員です。

**★火災や自然災害に対して**

どのような活動をしていますか?

消防団は消防署と連携して対応する組織で災害の予防活動および災害時には、連絡が入れば消防署と一緒に現場に行き、消防活動や交通整理などに従事します。実例では、かつて管轄域の崖が崩れたときに土砂の中に人が埋もれていないか搜索を行いました。

**★サラリーマンは出動できるの?**

地元にいる時だけ、出動します。

**★サラリーマンは**

仕事と両立できますか?

会社の勤務時間以外の空いている

第二分団夏季訓練会の様子



2019.6.2

る時間に活動できます。

**★今後の目標は?**

来年2020年の港北消防団夏季訓練会の操法競技に第5班が出場します。(いかに早く資機材を使って消火するかを競う競技) そのため是非、若い方に入団いただき、競技に良い態勢で臨みたいですね。

**第二分団第5班の消防自動車**



班に1台あり、横浜市消防局が所有。班でお借りしている。仲手原自治会館横の器具置き場に駐車。普通免許で研修を受け、2人以上で運転できる。緊急出動時、広報活動時に使用する。

**★女性消防団で地域の仲間と活躍しませんか?**

活躍しませんか?

第一分団から第八分団の港北消防団員の内、第八分団は女性だけの組織です。日常にも役立つ応急手当、救命、火災予防の普及等、女性だからこそできる活動があります。現在第八分団第2班(篠原地区)は8名ですが、仲手原の方がいません。地域に貢献したい方、是非、あなたの力をお貸しください。



### 自治会だより

12月 「なてはら」第56号発行

映画「ケアン」上映会(15日)

自治会館年末大掃除(21日)

「日の出を見る会」

(22日 午前6時30分)

1月 港北駅伝大会(19日)

2月 自治会親睦バス旅行(未定)

3月 新旧役員交代懇親会(7日)

新班長・組長業務説明会(未定)

### 子供会だより

単独行事

2月 節分豆まき大会(2日)

親子スキー教室(21~23日)

3月 卒業・進級祝い

### 「秋のふれあいまつり」中止

10月12日に予定されていた「秋のふれあいまつり」は、台風19号の接近を考慮し、10月10日午前に全面中止が決定されました。



10月14日、自治会館にて篠原地区ボランティア連絡会主催「福祉バザー」が開催されました。

### 群馬県 昭和村へ行く

2019.10.9(水)

10月9日、仲手原自治会は役員や班長さん、公募した住民の方など30名で赤城山麓にある昭和村を訪問しました。ここには「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」があり、横浜市とは半世紀近くにわたり友好交流を続けています。



8時にバスで出発、広大な畑の広がる昭和村には昼前に到着しました。

赤城林間学園の職員の方に園内を案内していただきました。廊下にはここで過ごした横浜市の子どもたちからの感謝の手紙がたくさん貼られていました。

午後には「昭和村づくり協力委員会」の方々と交流会を持ちました。昭和村は人口約7千人、面積は港北区の倍以上ある農業を中心としたところで、代表の方から委員会の村づくり活動の様子などのお話をうかがいました。そして仲手原自治会からは斎藤会長の

あいさつの後、昨年度の自治会活動について映像を使って説明、その後は一緒に話し合いを持ち、最後に参加者全員で記念撮影し交流会を終りました。



交流会のようす(赤城林間学園)

### 健民祭 玉入れ優勝

11月10日、篠原地区健民祭が武相学園グラウンドで開催されました。まさに秋晴れの好天に恵まれ、8町会から約千五百名の会員が集って、声援を送り、汗を流し、活動的な一日を過ごしました。

自治会対抗競技としては玉入れとリレーがありました。仲手原はリレーでは残念な成績に終わったものの、玉入れでは優勝の栄誉に輝きました。トロフィーは自治会館に飾ってあります。



玉入れ

### 自治会館利用の文化活動紹介

火曜日 午後8時

### 自彊術体操



難しそうな名前の体操ですが、実は、ラジオ体操が始まる前から既に日本国内で広く行われていた、百年の歴史ある日本生まれの体操なのです。



公益社団法人 自彊術普及会 教室のようす(自治会館)

年齢を問わず、少ない力でも、からだ全体を動かせるようにプログラムされています。まずは顔こすりと足もみで調子を整え、31動作の体操を独特な呼吸法で少しずつマスターします。

講師も現在会員の方々も皆仲原の住民。無理せず楽しく、一緒に健康を目指しています。

現在、3時からの教室募集中！初めての方も昔なさっていた方も一度見学にお越しください。

「お問い合わせ先 045-402-6064 鈴木」

### 編集スタッフ

伊東美奈子・植木幹造・押尾泰典・芳賀宏江・三宅博久・宮田純子

編集責任者：中村泰雄